

省CO2、環境への取り組みの先導を目指して！

新潟日報メディアシップeco倶楽部

1.リデュース

【館内の消耗品を詰替え式の使用】

新潟日報メディアシップ内で使用する手洗い洗剤・アルコール消毒・清掃洗剤など詰替え式を採用し発生抑制に取り組んでいる。

3.リサイクル

【ゴミの分別によるリサイクルへの取り組み】

新潟日報メディアシップでは、ゴミの分別を館内規則にて定め、館内から排出されるゴミの分別に取り組んでいる。具体的には、館内からゴミ排出の際は、分類別に計量を行い各テナントへ従量課金を行うシステムを取り入れており、分類毎の排出量把握も行っている。

また、ゴミ排出の際に、プラスチック類をペットボトルや食品トレイ等に分類するようにゴミ捨て場を分類毎に区分けるなどしてリサイクルに取り組んでいる。

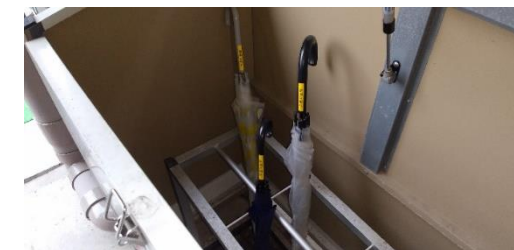
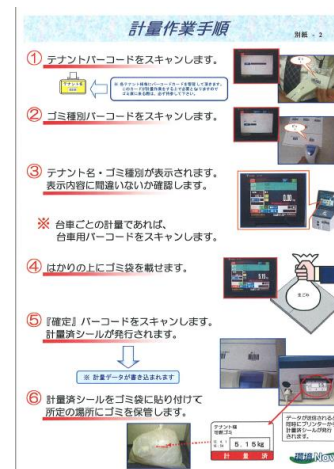
2.リユース

【忘れ物の傘の再利用】

新潟日報メディアシップ内の忘れ物の傘をビル関係者用の置き傘として再利用。

【館内の設備機器の長期使用】

新潟日報メディアシップ内で使用している電気・空調・衛生設備機器は、長期使用を見据え修繕計画を組み、修理による長期使用に取り組んでいる。



左：ゴミ計量について

右上：置き傘の利用状況

右下：ゴミ捨て場の分別状況



4.SDG s の取り組み

新潟日報メディアシップeco倶楽部では、ゴール3、ゴール5、ゴール7を目指しています。

2020年にSDG s 宣言をし、その宣言を基に取り組んでいます。



すべての人に健康と福祉を

新潟日報メディアシップeco倶楽部では、ペットボトルキャップ回収活動を行って、「世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じ世界の子どもにポリオワクチンを届ける寄付活動に参加しています。令和4年度実績として約79人分のポリオワクチンを提供に協力しました。



ジェンダー平等を実現しよう

新潟日報メディアシップeco倶楽部の活動は、性別・役職にとらわれず誰でも参加出来る活動に取り組んでいます。



エネルギーをみんなにそしてクリーンに

新潟日報メディアシップは、建物全体で省CO2化に取り組んでいます。太陽光発電によるクリーンエ

ネルギーを使用することや、屋上・壁面緑化などとともに、建物内の照明のLED化や人感センサーによる照明制御を行い一般家庭約240世帯分のCO2削減を行っています。



パートナーシップで目標を達成しよう

新潟日報メディアシップeco倶楽部では、多種多様な企業・団体と共に新潟市が開催するチューリップ

フェスティバルへの参加や、ペットボトルキャップ回収活動、省CO2活動などを協力して行っています。



ペットボトルキャップ回収状況



令和4年度万代橋チューリップフェスティバル